

公益財団法人総合花巻病院から寄贈いただいた資料をご紹介します ～ 故・佐藤隆房氏収集のコレクション約4000点を寄贈いただきました ～

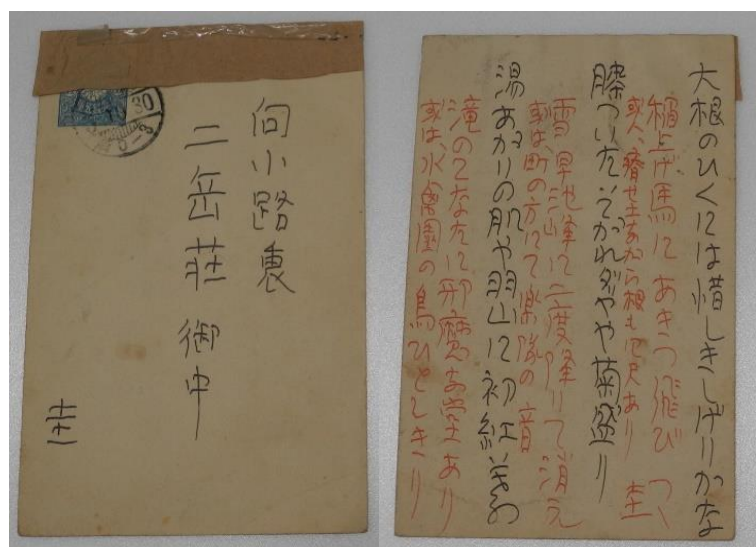
公益財団法人総合花巻病院から、前身である花巻共立病院の設立者で初代院長である故・佐藤隆房氏が収集したコレクションを令和2年6月17日に寄贈いただきました。寄贈いただいた資料を整理・評価した結果、211件、約4,000点に及ぶことがわかりました。寄贈いただいた資料の中から主なものを紹介いたします。

大変貴重な資料をご寄贈くださった総合花巻病院の関係者の皆様には、こころより感謝を申し上げます。

主な寄贈資料

▶宮沢賢治関連資料① はがき 1点

賢治が、二岳（佐藤隆房氏の俳号）が作った3句を黒字で、その句に対する自身の付句を赤字で書いて佐藤隆房へ宛てたもの。



表

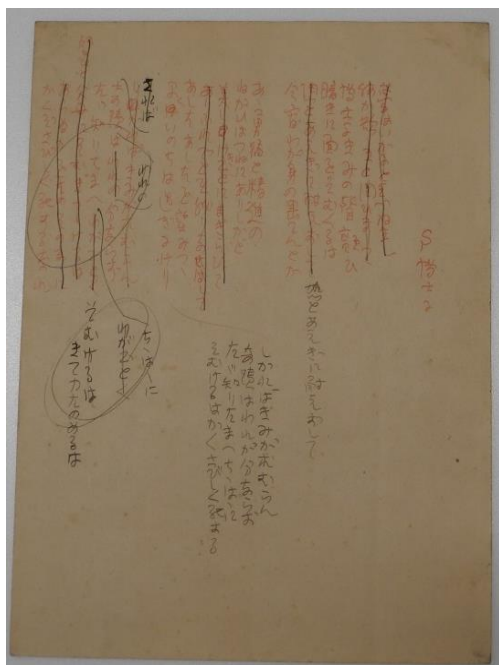
裏

昭和三年十月三十日消印
大根のひくには惜しきしげりかな
稲上げ馬にあきつ飛びつ、
或ハ、瘠せ土ながら根も四尺あり
膝ついたそがれダリヤや菊盛り
雪早池峰に二度降りて消え
或は、町の方にて楽隊の音
湯あがりの肌や羽山に初紅葉
或は、水園の鳥ひとしきり

▶宮沢賢治関連資料②

「S博士に」の詩稿とみられる資料 1点

闘病中の自身の思いを表現した詩の草稿とみられるもの。S博士は佐藤隆房氏であるともいわれている。



S博士に
夢はいかにとたづねまし
何か欲しきと問ひましで
博士よきみの声頼（ふるえ）ひ
暗きに面をそむくるは
熱とあえぎに耐えずし
今宵わが身の果てんとか
ああ勇猛と精進の
ねがひはつねにありしかど
美しけきことはまぎらひせ
ありふれごとを織りなし
あしたあしたを望みつ
早くいのちは過ぎにけり
しかればきみが求むらん
奇蹟はわれに分ならず
ただ知りたまへわがごとく
父母はそむけるは
あゆめ力をそのまは
かくぞさびしく死するなれ
ちちははに
わがごとく
そむけるは
きて力たのめるは
しかればきみが求むらん
奇蹟はわれに分ならず
ただ知りたまへちちははに
そむけるはかくさびしく死する
熱とあえぎに耐えずして

▶宮沢賢治関連資料③ 掛軸（毛筆筆写） 1点

花巻農学校のかつての教え子に自作の文語詩「種山ヶ原」の一文を書いて贈呈した扇子を軸装したもの。



ち風う菩縄
かとち提と
ひ光よ樹
せにせ皮
りてに

た山北
め地
にの
！

▶松本竣介の素描 1点

都会に生きる人々や都会の風景を描いた日本の洋画家。戦時下の市街風景を描いたもの。



▶花巻人形「猪退治」 1点



▶その他の資料

- 刀剣類
- 橋本八百二「岳父の像」
- 故・佐藤隆房氏直筆の書画やパレット等の画材、愛用のメス、日記帳、名刺等

しみずたかし
▶清水多嘉示「裸婦」 1点



長野県出身の彫刻家。
ブロンズ彫刻で日展*をはじめ国際的にも広く活躍した。

*日本美術展覧会
日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書の5つの部門からなる総合美術展

ほんこぎねこんいとおどしにまいどうぐそく
▶甲冑 本小札紺糸絨二枚胴具足 2点
南部家縁の品である可能性が認められる甲冑

